

”北九州市沖洋上風力発電設備”ピッチベアリング交換工事のお知らせ

次の通り、関門港響新港地区において洋上風車のピッチベアリング交換工事を実施致します。付近を航行する船舶については、十分な注意と工事への御協力を宜しくお願い致します。

◆◆◆◆お問合せ先◆◆◆◆

【発注者】 株式会社日本製鋼所
風力室 室蘭風力製品部
Tel. 0143-22-0442

【施工者】 五洋建設株式会社
九州支店 響灘工事事務所
Tel. 093-752-0350

1. 作業期間及び作業時間（平成28年4月上旬～平成28年7月下旬）

作業場所	作業名	主要船舶	平成28年（2016年）											
			4月			5月			6月			7月		
			10	20	30	10	20	31	10	20	30	10	20	31
陸上	—	準備作業（シンカー製作他）												
—	海上	準備作業												
陸上	海上	ハブ・ブレード等下架作業												
陸上	—	ピッチベアリング交換作業												
陸上	海上	ハブ・ブレード等上架作業												
—	海上	片付け												
陸上	—	片付け												

※ 作業時間を日の出から日没までとします。
※ 原則として日曜日は作業しませんが、工事の進捗状況によっては行うことがあります。

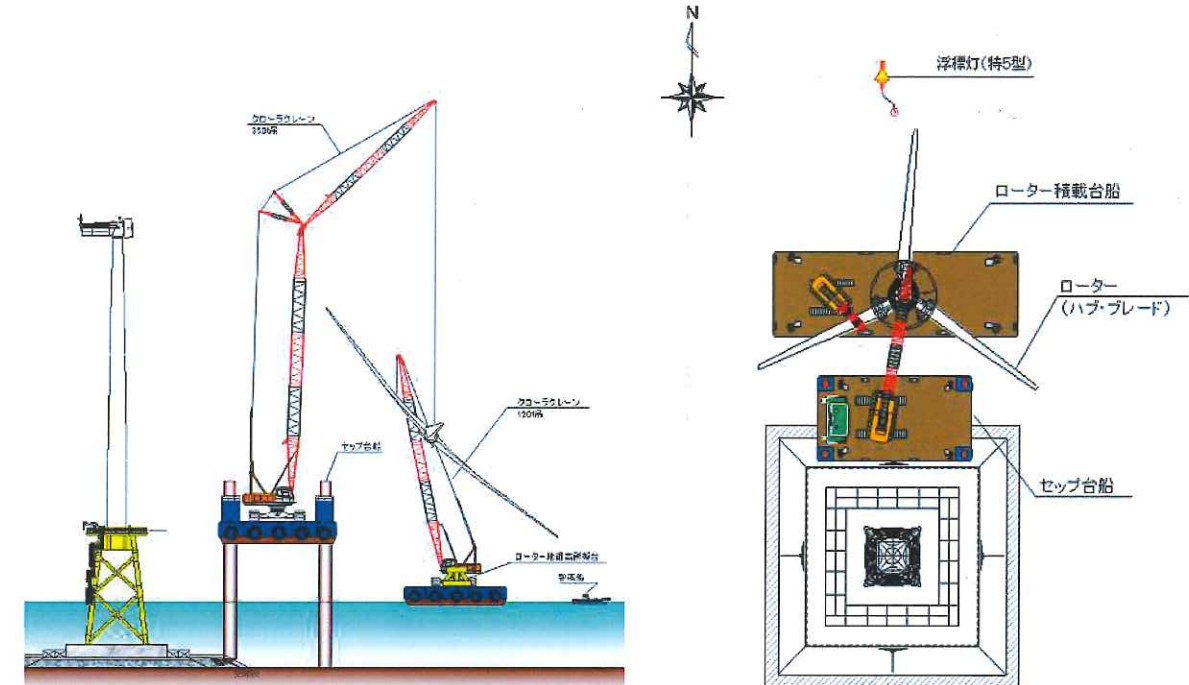
2. 工事場所（関門港響新港地区・響新港西1号防波堤沖合）



3. 工事概要

- 響新港西1号防波堤の北側約500mに設置した洋上風車周辺海域において、ピッチベアリングの交換作業に先立ち、作業船の停泊に使用するシンカーの設置作業ならびに風車基礎の一部の被覆ブロックの撤去を実施します。また、響灘東D地区内の仮設ヤード前面海域にてセップ台船およびローター積載台船へのクローラークレーン（120tおよび350t吊）の積込みを実施します。
- 被覆ブロックの撤去完了後、セップ台船およびローター積載台船を各1隻ずつ所定の位置に配置し、セップ台船上に配置したクローラークレーン（350t吊）を使ってローター（ハブ・ブレード）の下架作業を行います。なお、下架作業完了後のローターは、セップ台船上に配置したクローラークレーン（350t吊）とローター積載台船上のクローラークレーン（120t吊）を併用して台船上へ仮置きします。

- ローター積載台船上にてローターの仮置き作業完了後、ローター積載台船を現場海域から響灘東D地区埋立地の仮設ヤード前面まで曳航し、ローターの水切り後、仮設ヤードにてベアリングの交換を行います。
- ベアリングの交換後、ローターをローター積載台船に積込み、現場海域へ曳航します。
- ローター積載台船を所定の位置に配置し、セップ台船上に配置したクローラークレーン（350t吊）を使ってローターの上架作業を行います。
- ピッチベアリングの交換作業完了後、セップ台船およびローター積載台船を現場海域より出域させ、起重機船にて基礎捨石および被覆ブロックの復旧、シンカーの撤去を行います。



ローター下架・上架状況（側面）図

ローター下架・上架状況（平面）図

【コメント】

※セップ台船およびローター積載台船が、洋上風車設置箇所一仮設ヤード（響灘東D地区）間を随時曳航します。
※浮標灯設置位置は若松海上保安部と調整中ですが、調整の結果、浮標灯設置位置が異なる場合がありますので、注意願います。

4. 工事中の安全対策

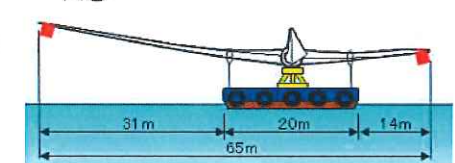
- 現地海域にローター積載台船を係留している間は、ローター積載台船北側より張出したブレード先端部付近に灯浮標（特5型）を1基設置します。
（浮標灯の諸元については、”表①”を参照）
- 洋上風車付近での工事作業中は、工事用船舶のアンカー位置に俵（イモ）もしくは玉（イモ）を設置して工事区域を明示するとともに、警戒の標識（緑・黄・緑の吹き流し）を掲げた警戒船を工事区域の周辺に1隻配備します。
- ローター積込み完了後にローター積載台船を曳航する際は、台船上から張出した各ブレードの先端部に赤旗を取付け、同時期に周辺を航行する一般船舶への注意喚起を行います。
（ローター積載台船の曳航時姿図は、”図①”を参照）
- セップ台船夜間停泊中は法定灯火ならびに水銀灯等を点け、付近を航行する船舶から船体を視認できる照度を確保します。

表①

【浮標灯諸元】

区分	灯浮標（特5型）
灯色	黄色
灯質	3秒1閃
実効光度	14 cd
光達距離	5.5 km

図①



5. 航行船舶へのお願い

- 工事区域付近を航行される場合は、操船に影響のない範囲で速力を減速するとともに、できる限り工事用船舶から離れて航行していただくよう御協力をお願い致します。
- 夜間停泊中のセップ台船および台船は、水面から上に出た台船部分が視認できるよう水銀灯を点け、その位置を明示していますが、夜間に工事区域付近を航行される場合は、十分注意して航行していただくようお願い致します。